

ごみ問題を考える会

ニュース NO.3
2002年10月4日

発行責任



轟清秀- 222-2011
北原 宗子 221-0508
舟越記美代 222-2396
TEL・FAX



大豆島にある長野市清掃センター内にプラスチック圧縮梱包施設の建設が計画されています。このことが、大豆島住民に十分な説明のない中で進められていたことから、私達は「大豆島ゴミ問題を考える会」をつくり、地域の皆さんに呼びかけ、長野市に対する意見書を集めたり、学習会などを行ってきました。その中で、長野市は地域住民への周知と、当初は調査されなかった「化学物質に対する調査」も行うと発表しました。

みんなの意見と運動の成果で長野市も変わりつつあります。しかし、「意見書に対する解答」や「広報ながの」の記事を見る限りでは、私達の不安を払拭されるものとは思えません。

この機会に私たち自身もごみ問題について学び、考え、よりよい結果が得られるよう力を合わせましょう。

長野市の見解

が発表されましたが...納得できますか...?

住民の声

に耳を傾けてください

生活環境への影響は?

- 生活環境調査をした結果生活への影響はほとんどありませんが、引き続き活性炭を設置するなど生活環境の安全対策に万全を図ります。

化学物質への影響は?

- 杉並区は不燃ゴミでプラスチックのほかのゴミも混ざっている。長野市はプラスチックだけなので汚水の心配もなく、健康被害を与えるほどの化学物質も発生しないと考えています。

大豆島へのゴミ処理が集中すること

- 分別するのでゴミの総量は変わらない
- 分別されたゴミから少量の可燃・不燃ゴミが出るので清掃センター内に建設するのが効率的。
- 循環型社会を目指し限りある資源の有効利用とごみ減量化を計る為に必要な施設です

住民の推薦した専門家・住民・行政とでガラス張りの検討委員会を作りモデルプラントで実際に調査をして、検討してください。

- 今回の生活環境調査は、机上の数値で確かな物ではないと、多くの専門家が指摘しておられます。それで本当に生活への影響がないと言い切れるのでしょうか。
- 杉並区も汚水だけでなく、施設から排出された無数の化学物質だと、公調委も認めています。そして化学物質についてはまだ、解明されていない部分が多いということです。だからこそ被害が出てからでは遅いので、しっかりと調査をして下さい。

発生抑制と施設の分散化を進めてください

- 焼却するゴミが減った分、広域化や合併に伴って、長野市以外のゴミが大豆島に運ばれてくると言うことは絶対にないのでしょうか。総量が増えるようで不安です。
- 更埴や他の地域でも、焼却炉とは別の場所にありました。処理施設を1地区に押し付けなくて、長野市民のゴミは、長野市民全体で考えてください。
- 施設建設に巨額な税金をかけて、再利用できるのは、16%ほどのことですが、それより、事業者責任を重くして、廃棄しにくい製品の発生抑制に、もっと力を注いでください

建設されてからでは手遅れです

—未来を担う 子供達のために—
いま、私達の手で、
住み良い環境を残しましょう!!



第2弾 学習会のお知らせ

第2段はゴミ問題で全国を駆け回っておられる関口氏をお招きして、長野県内の状況や、長野市の施設について、身近なお話しをして頂きます。
ご近所お誘いあわせの上ご参加ください!!

講師 関口鉄夫 氏 (長野大学 非常勤講師)

99年に廃棄物問題研究で佐久総合病院の若月俊一・名誉総裁の功績をたたえ創立された「若月賞」受賞。身近なゴミ問題に直面している住民達を訪ね歩き、幅広い専門知識で支えてきた。

とき 10月9日(水曜日)午後7時~9時
ところ 大豆島公民館 2階会議室

参加費 無料(カンパ歓迎します)

